

2025年度 事業報告書

1 事業の概況

(A) 助成公演事業

音楽を志す人々の活動を支援するために、青山音楽記念館 バロックザール を使用し、条件を満たした演奏会を開催される方に、ホール使用料の約3分の2を助成しています。

【実績】

2025年度57公演 5,525,600円（1公演平均助成額 96,940円）

参考：昨年度は48公演 4,831,900円（1公演平均助成額100,665円）

(B) 新人助成公演事業

青山音楽賞新人賞を希望する全ての人の金銭的な負担を軽減し、均等に演奏会開催の機会を持つことができるよう助成を行っています。ホール使用料や付帯設備使用料をはじめ、チラシやプログラムなど印刷費等を一定条件の下、財団が全額負担しています。

【実績】

2025年度8公演 2,448,992円（1公演平均助成額 306,124円）

参考：昨年度は6公演 1,853,232円（1公演平均助成額308,872円）

(C) 顕彰事業

(1) 青山音楽賞（新人賞・青山賞・バロックザール賞の三賞の総称）。

財団が運営する青山音楽記念館 バロックザールで、毎年1月から12月までの期間に開催された公演の中から選考、個人又は団体に授与します。

<新人賞>

演奏会当日26歳未満（声楽は29歳未満）の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金100万円、音楽研修費200万円及び研修成果披露演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限50万円）。

<青山賞>

演奏会当日26歳以上（声楽は29歳以上）の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金150万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限50万円）。

<バロックザール賞>

個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会以外の演奏会を対象に財団が選考し、2組以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金200万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限50万円）。

(2) 審査体制

青山音楽記念館 バロックザールで開催された公演で、音楽賞参加の申し込みのあった公演を対象に、各界より推薦された24名（内訳：審査委員8名、選考委員16名）の審査選考委員が原則として直接来館し、該当する演奏会を聴き、各選考委員が音楽賞候補者を推薦。その結果を基に2026年1月9日に審査委員会で審議して受賞者を選出し、2026年1月16日の理事会で承認を経て受賞条件の一つである授賞式への出席を確認した後、受賞者を決定。

(3) 青山音楽賞授賞式

2026年3月7日（土）青山音楽記念館に於いて「2025年度 第35回青山音楽賞授賞式」を実施。贈賞式後、受賞者が演奏を披露。

(4) 2025年度 第35回 青山音楽賞 受賞者

<新人賞>本年度は1名を選出

大本和司（ヴァイオリン）

受賞公演：2025年11月8日（土）『大本和司 ヴァイオリンリサイタル』

<青山賞>本年度は2名を選出

山田唯雄（クラシックギター）

受賞公演：2025年2月15日（土）『山田唯雄 ギターリサイタル』

小井土文哉（ピアノ）

受賞公演：2025年12月13日（土）『小井土文哉 ピアノリサイタル』

<バロックザール賞>本年度は2組を選出

クアルテット 風雅（弦楽四重奏）

落合真子・小西健太郎（ヴァイオリン）、川邊宗一郎（ヴィオラ）、松谷壮一郎（チェロ）

受賞公演：2025年7月27日（日）『クアルテット 風雅 リサイタル』

Violin Quarttett TAKEYUMI(ヴァイオリン四重奏)

山本大心・清水健太郎・及川悠介・島田光博(ヴァイオリン)

受賞公演：2025年12月5日（金）『Violin Quarttett TAKEYUMI ～高音域が織りなす天上の世界～』

(5) 青山音楽賞 受賞記念演奏会／研修成果披露演奏会

【開催実績】

受賞記念演奏会

2025年6月8日（日） 『TRIO VENTUS リサイタル』
(2023年度 バロックザール賞受賞)

2025年11月3日（月） 『久未航 ピアノリサイタル』
(2024年度 青山賞受賞)

研修成果披露演奏会

2025年5月23日（金） 『若尾圭良 ヴァイオリンリサイタル』
(2022年度 新人賞受賞)

2025年11月29日（土） 『山根風仁 チェロリサイタル
ベートーヴェンとパリの弦楽器奏者たち』
～秘曲で紐解く楽聖の素顔～
(2022年度 新人賞受賞)

(6) 音楽研修

【実施実績】

2025年度は実績なし

(D) 貸ホール事業

音楽ホールの利用は助成公演が大半を占めますが、助成公演以外に、一般公演、音楽諸団体の発表会やリハーサルでの貸出を行なっています。なお、音楽目的以外の貸出しは行っておりません。

【稼働実績】

ホール：総稼働日数101日（昨年度は96日）

2025年度 ホール使用内訳

種別	利用日数
ホールリハーサル	5
一般公演	7
新人賞研修成果披露演奏会	2
主催公演	10
受賞記念演奏会	3
授賞式	1
助成公演	57
奨学生成果披露演奏会	3
新人助成公演	8
発表会	5
総計	101

(E) 主催公演事業

主催公演は、国内外の一流演奏家による演奏会とし、日本におけるクラシック音楽文化の発展と、聴衆の育成に貢献できる事業です。

(a) 主催公演

【実績】

■2025年

- 4月25日（金） 『ハナ・ブラシコヴァ ソプラノリサイタル』
- 6月1日（日） 『アンジェラ・ヒューイット ピアノリサイタル』
- 6月29日（日） 『ダニエル・オッテンザマー クラリネット・トリオ・アンソロジー』
- 7月12日（土） 『鈴木優人 チェンバロリサイタルV』
- 9月3日（水） 『シュロモ・ミンツ ヴァイオリンリサイタル』
- 9月13日（土） 『穠吉敏子ジャズ ピアノ コンサート』
- 9月21日（日） 『鈴木優人 & BCJの仲間たち』
- 10月17日（金） 『ワンコインコンサート vol.7（佐份利恭子（vn））』
- 11月23日（日） 『ザ・シックスティーン、ハリー・クリストファーズ指揮』
- 12月12日（金） 『ワンコインコンサート vol.8（和谷泰扶（hmc））』

※主催公演の入場料は5,000円（全席指定）＊ワンコインコンサートは500円

※当日券が販売される場合に限り学生証の提示で1,500円で入場できることとしております。

(b) 共催公演

音楽を専門的に学ぶ課程を設置している高等学校を対象とし、音楽教育の一環として開催される入場無料の演奏会で、音楽を学ぶ学生及び生徒の育成に貢献できる事業について、1事業年度において1件を選定。

2025年4月1日から2026年3月31日に実施される事業を対象に出願期間を2024年11月1日から11月30日とし、ホームページ等で公募いたしましたが、応募がありませんでした。

(F) 育成支援事業

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対する支援を行います。

(a) 奨学金事業

【事業内容】

音楽大学又は音楽学部にて在籍している優秀な大学生（1年生～4年生）に関して、奨学金をもって支援を行います。

【選考方法】

毎年1回、音楽学部のある大学の中から財団の理事会において指定校11大学を決定し、指定校に対して募集要項等を配付して公募を行います。指定校は、学内選考により推薦者を決定し、当該学生の推薦書・願書等を財団へ提出。財団の奨学金規程に基づき、学識経験者を含む当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会が決定。

【指定校】

音楽教育では日本をリードする音楽学部のある国公立大学4校、及び私立大学より7校を指定。私立大学については、レベルの保持のために、過去に財団の青山音楽賞の受賞者を輩出した大学等を指定。

【支給対象者及び支給額】

支給対象者（人数）...音楽大学又は音楽学部にて在籍している大学生 45名程度／1年
支給額...年間60万円（月額5万円）／1名

【給付方法】

原則として1名に対する支給期間は1年とするが、最長4年まで継続可

【成果発表】

奨学金支給学生は奨学金支給終了時に特別の事情がない限り、財団の指定する時期に、青山音楽記念館 バロックザールで開催する奨学生成果披露演奏会で発表を行います。

【実績】

本年度は、東京藝術大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、愛知県立芸術大学、京都市立芸術大学、同志社女子大学、大阪音楽大学、相愛大学、沖縄県立芸術大学を指定しました。各大学に奨学生募集要項と応募書類様式を送付し、学内での公募を経て極めて優秀な学生を学内オーディションや教授会等にて選考。2025年4月1日～5月7日までを申請受付期間とし、各大学から奨学生を推薦していただきました。2025年5月13日に当財団の育成支援事業選考委員会における審議を経て、2025年6月25日の理事会にて合計44名の奨学生を決定しました。

（内訳）

- ・東京藝術大学 15名
（声楽3名、ピアノ2名、チェンバロ1名、弦楽3名、管楽3名、邦楽2名、作曲1名）
- ・東京音楽大学 2名（ピアノ1名、弦楽1名）
- ・桐朋学園大学 4名（ピアノ2名、弦楽1名、管楽1名）
- ・国立音楽大学 1名（声楽）
- ・武蔵野音楽大学 1名（弦楽）
- ・愛知県立芸術大学 4名（声楽1名、ピアノ1名、弦楽1名、管楽1名）
- ・京都市立芸術大学 9名
（声楽2名、ピアノ2名、弦楽1名、打楽1名、作曲1名、音楽学2名）
- ・同志社女子大学 1名（弦楽）
- ・大阪音楽大学 2名（声楽1名、ピアノ1名）
- ・相愛大学 3名（弦楽1名、管楽2名）
- ・沖縄県立芸術大学 2名（ピアノ1名、邦楽1名）

また、奨学生44名の一年間の成果発表の場として、当財団の主催公演「第13回公益財団法人青山音楽財団 奨学生成果披露演奏会 ～若き音楽家たちによる音の祭典～」を2026年3月20日（金）、3月21日（土）、22日（日）に、青山音楽記念館 バロックザールにて入場料無料にて実施しました。

さらに年度途中から、教育プログラム導入の試行として「オンライン・レクチャー動画」の提供を開始し、特に実演専攻の学生の研鑽に資する内容として提供しました。

(b) 学校等支援事業

【事業内容】

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対し、学生・生徒等がより充実した音楽活動を行いやすい環境をつくるための支援事業を行います。

【選考方法】

毎年1回、チラシ・ホームページ等で、大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対して音楽支援希望を公募。応募団体等に対して財団指定の申請書の提出を求め、当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会にて決定。

【支援内容】

年間総額300万円以内で支援を行います。

【報告】

実施事業の報告書を、事業終了後1ヶ月以内に提出していただきます。

【実績】

2025年度第14回学校等支援事業は、2025年4月1日から2026年3月31日に実施される事業を対象に出願期間を2024年11月1日から11月30日とし、チラシ・ホームページ等で公募。2024年12月16日に当財団の育成支援事業選考委員会にて審議し、2025年1月14日の理事会にて下記の6件を決定。

	団体名	内容	種別	支援金支払額 (単位：円)
1	東京国際ヴィオラコンクール実行委員会	ヴィオラスペース2025 vol.33 第6回東京国際ヴィオラコンクール	公演	450,000
2	いしかわミュージックアカデミー実行委員会	2025いしかわミュージックアカデミー	公演	450,000
3	一般社団法人日本フルーツ協会	第22回日本フルーツコンヴェンション in KOBE 2025	公演	決算で黒字化のため 支援金辞退
4	公益財団法人佐世保地域文化事業財団	アルカスSASEBO開館25周年記念事業 北部九州ジュニアオーケストラ・フェスティバル in 佐世保	公演	500,000
5	兵庫県立西宮高等学校	兵庫県立西宮高等学校音楽科 神戸特別演奏会	公演	450,000
6	関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール実行委員会	第14回 関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール	公演	450,000
			支援金支払 合計	¥2,300,000

2 会議に関する事項

1) 理事会

第85回理事会 2025年 5月 29日開催
第86回理事会 2025年 6月 13日開催
第87回理事会 2025年 12月 11日開催
第88回理事会 2026年 1月 16日開催
第89回理事会 2026年 3月 4日開催
第90回理事会 2026年 3月 12日開催

2) 評議員会

第30回評議員会 2025年 6月 13日開催

3 法人の運営体制の充実を図るための取組

当財団では、新公益法人制度の趣旨に則り、自主的かつ自律的なガバナンスの充実を図るため、2025年度において以下の取組を実施いたしました。

【情報管理体制の強化と関連規程の整備】

昨今の情報セキュリティの重要性の高まりを受け、財団が保有する個人情報や重要な事業情報の適切な保護・管理を目的として、新たに情報管理関係の規程を整備いたしました。これにより、情報漏洩リスクの低減を図るとともに、役職員に対する情報セキュリティに関する意識啓発を適宜実施し、より安全かつ適正な法人運営体制の構築に努めております。

<事業報告の附属明細書>

2025年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。